



# 悩めるSEの皆様へ 顧客の要求を、確実に仕様にできる システマティックな要件定義手法 リレーションシップ駆動要件分析

機能要求をどのように落とし込むのか？

何を書けば要件定義となるのか？

網羅的に要件をまとめる方法は？

整合性のある要件のまとめ方とは？

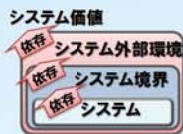
システマティックに要件定義を進めるには？

すべての答えがここにある！



その答えは…、要件定義に  
以下の4つの視点を持つことです

- システムの価値を掴む
- システムの外部環境を捉える
- システム境界を把握する
- システムを定義する



4つの視点は内側が外側に依存しており、この依存関係を利用し要件定義を進めることで精度が高くシステマティックに要件を定義することができます。

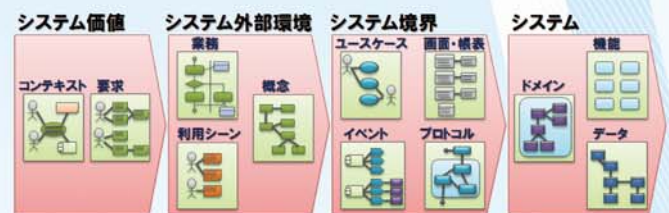
そして各々の視点に必要な情報を  
明らかにします

- システム価値
  - ・システムの役割目的は何か
  - ・システムにに関わる人や外部システムは何か
- システム外部環境
  - ・システムはどのように使われるのか
- システム境界
  - ・システムとの接点はどのようになるのか
  - ・その時の入出力情報は何か
- システム
  - ・システムに必要な機能とデータは何か



リレーションシップ  
駆動要件分析 (RDRA) とは…

左の4つの視点に必要な情報をUMLを使い、網羅的に整合性を保ちながら、システマティックに要件を分析する手法です。そして…、要件定義をツールで全て管理します。



モデルベースの場合は「EnterpriseArchitect」



モデルを使わない場合は「要件のツボ」



詳しくはウェブで

RDRAに関する情報を紹介しています

<http://k-method.jp/>



# EnterpriseArchitectを使った要件定義セミナー モデルベースの要件定義の手法を学べます

**有 料**  
オンサイトセミナー

## 要件定義(RDRA)入門セミナー

要件定義に含める情報やその組み立て方を示し、その上でどのようにUMLを使って要件の分析、定義を行うかをご説明いたします。  
このセミナーを受けることで要件定義として何を定義し、どのように定義すればいいのかが分かります。

日 程：1日 10:00~17:00  
形 態：オンサイト レクチャー  
内 容：

- ・要件定義の組み立て方
- ・要件分析のためのUMLの活用法
- ・要件定義行程の進め方、管理方法

## 要件定義(RDRA)実践セミナー

「要件定義入門」で示した考え方に従って実際にUMLを使った要件定義の演習を行い実践的なノウハウを習得します。  
このセミナーを受けることで実際のプロジェクトにおいて要件を定義するための分析手法を身につけることができます。

日 程：2日間 10:00~17:00  
形 態：オンサイトグループ演習  
内 容：

- ・要件定義のためのUMLの活用法
- ・精度を向上させるためのテクニック
- ・コミュニケーションツールとしてのモデリング手法の習得

演 習：  
・携帯電話のGPS機能を使ったタクシーの配車システムを「Enterprise Architect」を使い要件定義を行う

## 要件定義支援ツール

# 「要件のツボ」

要件定義には、何を？どのように？  
このような問題を「要件のツボ」が解決します！  
モデルが苦手な方でも素早く精度の高い要件定義ができます

### 議論しながらその場で要件を定義する

限られた時間の中で効率的に要件定義のアウトプットを出していくには、打合せ時、議論、整理、合意した内容をその場で文書化するのが有効です。RDRAが規定する要件定義の枠組みに沿って打合せを進めることで、議論の流れを作り、効果的にアイデアを引き出すことができます。出されたアイデアはその場で記録していきます。



<http://www.vsa.co.jp/kaname/>

### みんなで考え、結果を共有し、議論を積み上げる

要件定義は、最初は漠然とした姿しか見えないので、作業の中で理解を深めながら徐々に深掘りしていく必要があります。議論を積み上げ、そこから得られた結論を全員で共有しながら進めていきます。その際、議論を发散させることなく確実にアウトプットを出していくために、要件定義の枠組みを利用します。

### 本質的な要求を把握する

要求を分析してシステムが目指すべき目標を明らかにした上で、関係者共通の認識として合意します。要求分析を通じてシステム全体として何をやりたいのかを考えることは、枝葉の議論に終始する成果物指向からの脱却にもつながります。本質的な要求を把握した上で、それを実現するための方法を論理的な枠組みに従って組み立て直し、現実の方法に落とし込みます。



### 要件のツボ 動作環境

- |   |  |
|---|--|
| <p>■サーバー</p> <p>OS<br/>・ WindowsXP<br/>・ Windows7</p> <p>メモリ<br/>・ 1G以上 推奨</p> <p>ハードディスク<br/>・ 100M 使用</p> | <p>■クライアント</p> <p>Flash9 以降<br/>動作確認ブラウザ<br/>Firefox3.6~<br/>(WindowsXP、Windows7)<br/>Chrome<br/>(WindowsXP、Windows7)<br/>InternetExplorer8 ~<br/>(WindowsXP、Windows7)</p> |
|---|--|

※ Flashが実行可能なブラウザであれば上記以外のブラウザでも実行可能ですが、細かな振る舞いに差がでる可能性があります。詳しくはコミュニティバージョンで実際にお使いになる環境で動作確認をお願いいたします。

お問い合わせ：sales@vsa.co.jp

株式会社バリューソース

〒060-0053 札幌市中央区南3条東2丁目9番  
TEL 011-251-7650 FAX 011-251-7651

<http://www.vsa.co.jp>

### 要件定義マニュアル

モデルベースの網羅的で精度の高い要件定義手法を紹介

発行：秀和システム 著者：神崎善司  
定価：本体2600円+税

